ボーリング柱状図

調査名	2025年日本国際博覧会 土質調査委託（その2）
事業・工事名	
ボーリングNo	
シートNo	

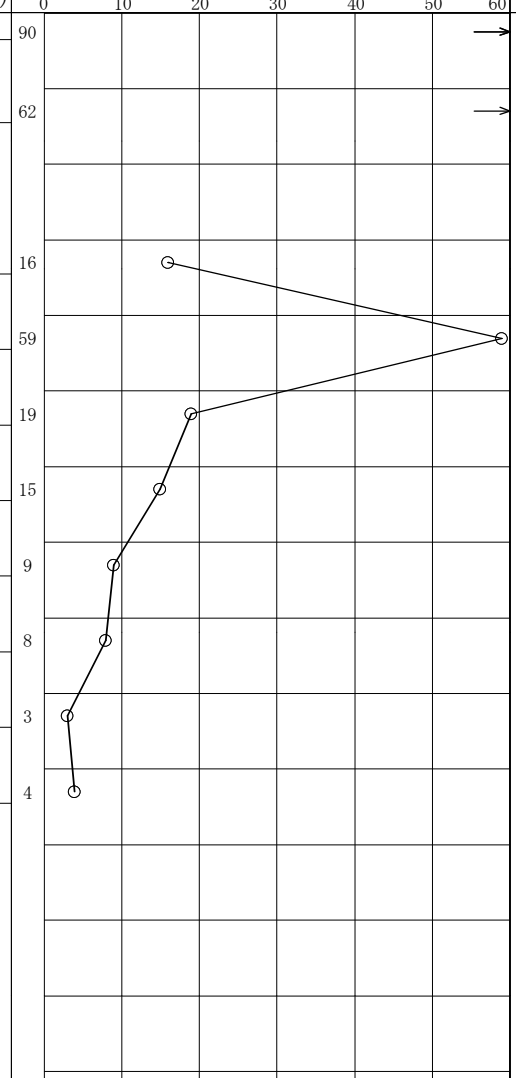
ボーリング名	2022-12	調査位置	大阪市此花区 地内	北緯	34° 39’ 3.88”
発注機関	公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会	調査期間	令和 4年 9月 12日 ～ 4年 9月 13日	東経	135° 23’ 11.30”

孔口標高	DL +11.07m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	YBM-05	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	10.50m								エンジン	NFD-8	ポンプ	V5-P

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	9.27	1.80	1.80		盛土・砂	淡褐～暗灰	（非常に密な）		改良土。 微細～細砂主体。 部分的に良く締め固まってる。 φ2～10mmの亜円～亜角礫点在。	
2 3	7.27	2.00	3.80		盛土・シルト質砂礫	暗灰	（中ぐらい）		φ2～20mmの亜円～亜角礫主体。 充填物は細砂。 半固結化したシルト混入。 GL-3.8m付近、 最大φ200mm前後の玉石点在。	
4 5 6	4.97	2.30	6.10		盛土・砂礫	淡黄褐	（中ぐらい～非常に密な）		φ2～20mmの亜円～亜角礫主体。 充填物は細～粗砂。 下部に従い、礫多くなる。	9/13 6.12
6	4.22	0.75	6.85		盛土・砂	暗黄褐	（中ぐらい）		細砂主体。 細礫、点在。	
7 8 9 10	0.57	3.65	10.50		埋土・シルト質粘土	暗緑灰／黒灰		（軟らかい～硬い）	不均質な粘土。 ヘドロ、部分的に混入。 GL-9m付近まで、 改良剤の入った粘土。 改良剤の臭いあり。 GL-9m付近、 廃棄物混入。（化学繊維） GL-9m付近～、 軟弱な粘土。	
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25										

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
0.15	34	26		60／20	90
0.35					
1.15	27	33	2	62／30	62
1.45					
3.15	6	5	5	16／30	16
3.45					
4.15	21	26	12	59／30	59
4.45					
5.15	5	7	7	19／30	19
5.45					
6.15	5	5	5	15／30	15
6.45					
7.15	3	3	3	9／30	9
7.45					
8.15	3	3	2	8／30	8
8.45					
9.15	1	1	1	3／30	3
9.45					
10.15	2	1	1	4／30	4
10.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
2.00	S-1	Ⓕ	物理 湿潤密度	
2.80				
3.15	P-3	⊖	物理	
3.45				
4.15	P-4	⊖	物理	
4.45				
5.15	P-5	⊖	物理	9/12
5.45				
				9/13